

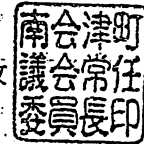
議 委 第 4 号

平成 24 年 4 月 16 日



南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

産業建設委員長 山内 政



所 管 事 務 調 査 報 告 書

所管事務調査について、調査した結果とその内容を下記のとおり報告いたします。

記

1. 調 査 日 平成 24 年 4 月 5 日 (木) 午後 1 時 30 分から午後 5 時 30 分まで
2. 目 的 ①暴風災害の被災状況について現地調査
3. 参 加 者 委員長 山内 政・副委員長 阿久津梅夫
委 員 長谷川耕一・室井 嘉吉・渡部 忠雄
事務局 鈴木 雄蔵
4. 説 明 員 ・住民生活課、農林課の被害状況概要(暫定)を参考にし、説明を求め
ず各地域の委員が被害地を案内した。

5. 調査日程及び結果

1) 暴風災害の被災状況について現地調査

① 本庁前で開会、あいさつ、日程説明後、被災地に向かう。 13:30～

ア、田島地域

・ 田部、長野地区 13:40～14:10

・ 川島地区 14:25～14:40

アスパラガスのビニールハウスのビニールがごとごとく吹き飛ばされていた。すでにハウスの中ではアスパラガスが芽を出していた。至急の手当てが必要ということで長野地区ではすでに破れたビニールを撤去し、新たなビニール掛け作業が実施されていた。

イ、館岩地域

・ 福渡地区 15:30～15:50

J A会津みなみ館岩支店のトタン屋根がはがれ、はがれたトタンが飛ばされて電線に掛かり館岩地域が停電となる。

・ 上ノ原地区 16:00～16:10

民家1軒（留守宅）が壊滅状態であった。家主が片付けの最中であつた。他に倉庫の屋根が飛んでいた。

・ 穴原地区 16:15～16:22

蔵の屋根がそっくり吹き飛ばされていた。その材料の一部が国道沿いの車庫の壁に当たり損傷していた。人家でなくて不幸中の幸いであつた。

ウ、伊南地域

・ 耻風地区 16:25～16:45

地区公民館は屋根が吹き飛ばされ壊滅状態であつた。その他住宅の屋根が被害に遭い、1家族が避難していた。又、蔵の屋根、車庫の屋根やシャッター、入っていた車に被害が出ていた。状況を見る限り今回の暴風災害が人家に及ぼした被害としては一番ひどいものであつた。

・ 大桃地区 16:55～17:05

民家の屋根が飛ばされていた、又高畑スキー場レストハウスの屋根の一部がめくられていた。

・ 宮沢地区 17:20～17:30

伊南下請等共同作業所（現在、大東服装㈱が操業中）の南側屋根のトタン板が吹き飛ばされ、ビニールシートに覆われていた。

エ、南郷地域

・ 災害状況が軽度なので調査を見送った。

② 宮沢地区の現地を確認後、閉会とした。 17:30

6. 総 括

・ 4月4日の深夜から早朝にかけての暴風は、家にいて受ける風の強さはこれまであまり経験のないものであつた。また、各地域の委員から聞く災害の状況から、現況把握は急を要するものがあつた。

役場の調査結果を見てそれにより説明を求めながら現地調査と考えたが、被災箇所が片付けられたりしたのでは現地調査の意味が薄れると考え、翌日の調査となった。

・ 調査を実施し被災地の現況に驚いた。アスパラガスの出荷を控えたビニールハウス、飛ばされて使用不可能な地区集会所、避難を余儀なくされた人家、車を入れることが

出来ない車庫等であった。

- ・町でまとめた被害状況概要（暫定）には、災害救助法の適用や激甚災害指定は困難な状況と記載されていた。しかしながら復旧には時間と金がかかる。できるだけ被災された方々に寄り添う支援や助言を役場をお願いしたい、委員全員の要望である。

